

ANNOUNCEMENTS

I. 平成9(1997)年度第2回理事会

日 時：平成9(1997)年5月20日 16:00~18:00

場 所：東京医科歯科大学内，レストランアルメイダ（東京都文京区湯島 1-5-45）

出席者：中込理事長，笹月・新川・浜口・三輪各理事，池内・黒木各監事，古山次期大会会長，
安河内（会計）・中堀（庶務）各幹事

国際人類遺伝学会議(2001年)の開催地の決定につき，不可解な動きが米国，欧州などから出ており，また，これまで国際人類遺伝学会議の開催地の決定にあたってきた国際人類遺伝学会議常置委員会に代わり，米国・欧州を中心とする新しい組織を作るなどの動きが出てきたことを受けて，緊急に本年度の第2回理事会を召集した。

議 題：

I 報告事項

1. 学会賞選考委員会の経緯と選考結果について，中込理事長より報告があった(本号の学会賞選考委員会報告を参照)。
2. 池内選挙管理委員長より1998~1999年任期の評議員選挙の結果および理事・監事・学会賞選考委員の選挙の途中経過について報告があった。
3. 中堀庶務幹事の徳島大学公衆衛生学教室への異動(6月より)にともなう連絡先の変更などが報告された。
4. 日本医学会用語委員会より，「日本医学会用語辞典，英和」の作成について，専門用語の収録，訂正などの要望を提出するよう要請があった。希望者は今泉洋子委員まで連絡し，同氏の手元で当学会としての提案をまとめて提出することになった。

II 協議事項

1. 第10回国際人類遺伝学会議(International Congresses of Human Genetics, ICHG, 2001年)の開催については，昨年12月に正式立候補を表明し，本年2月に常置委員会による投票が行われたところであるが，投票の結果が公表されていないなど不審な点があることが三輪理事(常置委員会委員)より報告された。一方，International Federation of Human Genetics Societies (IFHGS) という団体から理事長宛に参加の招請が来ていること，またその手紙にはIFHGSが2001年の大会をorganizeするであろうなど，不可解な内容を含むことが紹介された。同団体は欧州，北米[?]，豪州の3大陸を代表する，欧州，米国，オーストラリアの3人類遺伝学会が，集まって組織したものであり，すでに規約なども決まっている。各国を代表する人類遺伝学会はフルメンバーとしての参加を認められず，複数の国を代表する組織だけがフルメンバーとして認められ，かつ加入には既存の3フルメンバー全員の賛成を必要とする，欧州，米国，オーストラリア人類遺伝学会の年次大会に際して，フルメンバーの会議を開くなどある。

これらの問題について情報が交換されるとともに，日本人類遺伝学会としての対応が検討された。まず2001年の国際人類遺伝学会議については，このようなunfairな運営が行

われる状況では大会開催に責任を持ってない、という理由で立候補を取り消すことが諒承された。開催地選定手続きの不透明さについて、三輪常置委員会委員より問い合わせと抗議の手紙を送付済みであることが紹介された。IFHGSについては、アジアの人類遺伝学会を組織し、かつ、その代表に選ばれないとフルメンバーとしての加入が不可能であること、また IFHGS 成立の手続き上の問題もあり、直ちに加入に向けて動くことはしないことになった。

また IFHGS は、完全にヨーロッパ人中心の組織であり、真に世界の人類遺伝学を代表しているとは言えないなど、問題点の指摘と同組織の発足について再考を促す手紙を、中込理事長および三輪常置委員会委員の双方から送ることも諒承された。なおこの件に関して、アジア諸国の常置委員会委員に対して意見を求めるなどの対応は、三輪同委員会委員にお願いすることになった。

(庶務幹事 中堀 豊)

II. 学会賞選考委員会

1997(平成9)年度人類遺伝学会賞および奨励賞の選考委員会は、5月20日に東京医科歯科大学で開催された。本学会評議員および名誉会員より推薦にあった候補者について慎重審議の結果、新潟大学脳研究所・辻 省次教授の「トリプレットリピート病の分子遺伝学的研究」に対し、日本人類遺伝学会賞が贈られることになった。さらに、九州大学遺伝情報研究施設・佐々木裕之博士が「ゲノムインプリントの機構に関する分子遺伝学的研究」によって、また熊本大学小児科学教室・犬童康弘博士が「先天性無痛無汗症の責任遺伝子の同定」によって、それぞれ日本人類遺伝学会奨励賞を受賞することとなった。

(庶務幹事 中堀 豊)

III. 役員の改選

評議員の改選：会則(1996年10月改正)にもとづき、本学会評議員の改選が行われた結果、下記のとおり130名の会員に委嘱(任期は2年間)された。

平成10(1998)年～平成11(1999)年 日本人類遺伝学会評議員

浅香 昭雄	山梨医科大学保健学教室	稲澤 譲治	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター
阿部 達生	京都府立医科大学衛生学教室	今泉 清	神奈川県立こども医療センター
有馬 正高	東京都立東大和療育センター	今泉 洋子	国立社会保障・人口問題研究所
阿波 章夫	放射線影響研究所	今村 孝	国立遺伝学研究所人類遺伝部門
池内 達郎	東京医科歯科大学難治疾患研究所	上原 茂樹	東北大学医学部産婦人科学教室
池本 卯典	自治医科大学法医学・人類遺伝学講座	江見 充	日本医科大学老人病研究所分子生物学部門
石切山 敏	千葉県こども病院遺伝科	遠藤 文夫	熊本大学医学部小児科学教室
一色 玄	大阪市立大学医学部小児科学教室		

- | | | | |
|--------|------------------------|-------|---------------------------|
| 大倉 興司 | 日本家族計画協会遺伝相談センター | 斎藤加代子 | 東京女子医科大学小児科学教室 |
| 大沢真木子 | 東京女子医科大学小児科学教室 | 齊藤 伸道 | 大分市医師会立アルメイダ病院産婦人科 |
| 大野 耕策 | 鳥取大学医学部生命科学科神経生物学教室 | 榎 佳之 | 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター |
| 大橋 博文 | 埼玉県立小児医療センター遺伝科 | 桜井 雅温 | 埼玉県立がんセンター |
| 大濱 紘三 | 広島大学医学部産婦人科学教室 | 桜庭 均 | 東京都臨床医学総合研究所臨床遺伝学 |
| 大和田 操 | 駿河台日大病院小児科 | 佐々木正夫 | 京都大学放射線生物研究センター |
| 岡田伸太郎 | 大阪大学医学部小児科学教室 | 笹月 健彦 | 九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門 |
| 小笠原信明 | 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 | 佐藤 孝道 | 虎ノ門病院産婦人科 |
| 緒方 勤 | 東京電力病院小児科 | 佐藤千代子 | 放射線影響研究所遺伝学部 |
| 荻田 善一 | 荻田バイオ・サイエンス研究所 | 塩野 寛 | 旭川医科大学法医学教室 |
| 押村 光雄 | 鳥取大学医学部生命科学科細胞工学教室 | 篠原多美子 | 沖中記念成人病研究所 |
| 尾本 恵市 | 国際日本文化研究センター研究部 | 島田 隆 | 日本医科大学生化学第二教室 |
| 折居 忠夫 | 中部学院大学人間福祉学部 | 清水 信義 | 慶応義塾大学医学部分子生物学教室 |
| 梶井 正 | エスアールエル遺伝子・染色体解析センター | 下沢 伸行 | 岐阜大学医学部小児科学教室 |
| 金澤 一郎 | 東京大学医学部神経内科学教室 | 十字 猛夫 | 日本赤十字社中央血液センター |
| 金子安比古 | 埼玉県立がんセンター病院化学療法部 | 陣野 吉広 | 長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設 |
| 鎌田 七男 | 広島大学原爆放射能医学研究所分子生物研究部門 | 鈴木 友和 | 九州大学生体防御医学研究所臨床遺伝学部門 |
| 川井 尚臣 | 徳島大学医学部第一内科学教室 | 鈴木 康之 | 岐阜大学医学部小児科学教室 |
| 北川 照男 | 国際学院埼玉短期大学 | 鈴木 義之 | 東京都臨床医学総合研究所 |
| 木田盈四郎 | 帝京女子短期大学 | 鈴木 薫 | 名古屋市立大学医学部産婦人科学教室 |
| 黒木 良和 | 神奈川県立こども医療センター | 孫田 信一 | 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所遺伝学部 |
| 黒田 泰弘 | 徳島大学医学部小児科学教室 | 高井新一郎 | 大阪大学医学部付属バイオメディカル教育研究センター |
| 近藤 郁子 | 愛媛大学医学部衛生学教室 | 高木 信夫 | 北海道大学大学院地球環境科学研究科 |
| 近藤喜代太郎 | 放送大学教養学部 | 竹下 研三 | 鳥取大学医学部脳神経小児科学教室 |
| 近藤 直実 | 岐阜大学医学部小児科学教室 | | |

武部 啓	京都大学医学部放射線遺伝学教室	日暮 真	東京家政大学児童学科小児医学
多田 啓也	NTT 東北病院	平井 百樹	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻人類遺伝学研究室
田中亀代次	大阪大学細胞生体工学センター細胞構造機能研究部門	平山 幹生	福井医科大学第二内科学教室
谷村 雅子	国立小児病院小児医療研究センター小児生態研究部	福嶋 義光	信州大学医学部衛生学教室
千代 豪昭	大阪府立看護大学	服巻 保幸	九州大学遺伝情報実験施設
塚原 正人	山口大学医療技術短期大学部	福山 幸夫	小児神経学研究所
月野 隆一	有田市立病院小児科	藤木 典生	東洋紡績遺伝子解析ラボラトリー
辻 省次	新潟大学脳研究所神経内科学教室	藤田 弘子	三菱化学ピーシーエル細胞遺伝解析部
徳永 勝士	東京大学医学部人類遺伝学教室	藤本征一郎	北海道大学医学部産婦人科学教室
外村 晶	東京医科歯科大学難治疾患研究所	古川 研	上牧温泉老人保健施設「草笛の里」
中込 弥男	順天堂大学公衆衛生学教室	古庄 敏行	杏林大学保健学部臨床遺伝学教室
中堀 豊	徳島大学医学部公衆衛生学教室	古山 順一	兵庫医科大学遺伝学教室
中村 祐輔	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター	宝来 聰	国立遺伝学研究所人類遺伝部門
永井 敏郎	都立清瀬小児病院小児神経科	堀 雅明	放射線医学総合研究所
植原 幸二	岡山大学医学部小児科学教室	本庶 佑	京都大学医学部医化学教室
成澤 邦明	東北大学医学部病態代謝学教室	松井 一郎	横浜市港北区保健所
成富 研二	琉球大学医学部小児科学教室	松尾 宣武	慶応義塾大学医学部小児科学教室
新川 詔夫	長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設	松田 一郎	熊本大学医学部小児科学教室
西庄 勇	国立大阪病院外科	松原 洋一	東北大学医学部病態代謝学講座
西村 泰治	熊本大学大学院医学研究科免疫識別学講座	松本 正	長崎大学医学部小児科学教室
橋本 知子	兵庫医科大学遺伝学教室	美甘 和哉	旭川医科大学名誉教授
長谷川知子	静岡県立こども病院遺伝染色体科	三木 哲郎	大阪大学医学部第4内科学教室
羽田 明	北海道大学医学部公衆衛生学教室	三澤 信一	京都府立与謝の海病院
浜口 秀夫	筑波大学基礎医学系	宮林 重明	東北大学医学部小児科学教室
早坂 清	山形大学医学部小児科学教室	三輪 史朗	冲中記念成人病研究所
		森 正敬	熊本大学医学部分子遺伝学教室

安河内幸雄	東京医科歯科大学難治疾患研 究所	山中 勲	愛知県心身障害者コロニー中 央病院臨床第一部
安田 徳一	放射線医学総合研究所遺伝研 究部	山村 研一	熊本大学医学部遺伝発生医学 研究施設
山口 清次	島根医科大学小児科学教室	吉田 勉弘	北海道大学理学部付属動物染 色体研究施設
山口 雅也	佐賀医科大学内科学教室	芳野 信	久留米大学医学部小児科学研 究所
山田 清美	国立国際医療センター研究所 遺伝疾患研究室	和田 義郎	名古屋市立大学医学部小児科 学教室
山田 正夫	国立小児病院小児医療研究セ ンター先天異常研究部		

理事、監事の改選：会則(1996年10月改正)にもとづき、新評議員による役員選挙が行われた。その結果、理事および監事として、下記のとおり10名の各氏が選出(理事および監事の任期は2年間)された。

理事：黒木良和(神奈川県立こども医療センター)

笹月健彦(九州大学生体防御医学研究所)

多田啓也(NTT東北病院)

中村祐輔(東京大学医科学研究所)

新川詔夫(長崎大学医学部)

浜口秀夫(筑波大学基礎医学系)

松田一郎(熊本大学医学部)

三輪史朗(沖中記念成人病研究所)

監事：池内達郎(東京医科歯科大学)

日暮 真(東京家政大学)

学会賞選考委員の一部改選：新評議員による学会賞選挙委員の一部改選が行われた結果、新委員として下記のとおり3名の各氏が選出(任期は4年間)され、委嘱された。

多田啓也(NTT東北病院)、中村祐輔(東京大学医科学研究所)、三輪史朗(沖中記念成人病研究所)、なお、非改選委員は、黒木良和(神奈川県立こども医療センター)、笹月健彦(九州大学生体防御医学研究所)、松田一郎(熊本大学医学部)の3名である。(庶務幹事 中堀 豊)